



～JETプログラムの巻～

教科書のワークシート作成による JET-ALTのチーム・ティーチングの 授業への取り組み

北九州市教育委員会外国青年指導員 鶴田 峰子

北九州市ALTの勤務

北九州市には北九州市立の高等学校1校、中学校62校、小学校130校があり、そのほかに県立、私立、国立附属の学校があります。北九州市の外国語指導助手（ALT）は、JETプログラムの外国語指導助手（JET-ALT）12人と、民間派遣会社からの派遣者で構成されており、JET-ALTは市立の中学・高等学校および特別支援学校を訪問しています。2012年度より6月から翌年の2月まで9か月間は、各JET-ALTは基本的に1～2校で勤務し、学期末の2月末から新学期5月までの3か月間は、市内の全市立中学校62校を中学校担当JET-ALT 11人で分担して訪問しています。

ワークシート作成に至る経過

1. JET-ALT定例会議における意見交換

北九州市教育委員会では毎月1回、JET-ALT定例会議を開き、担当指導主事、外国青年指導員と全JET-ALTが出席して意見や情報の交換を行っています。JET-ALT定例会議では教育委員会からの事務連絡、出勤簿・年休届などの書類提出、教育委員会主催の行事準備、教材および指導法などについて意見交換を行っています。ALT担当者は、JET-ALT定例会議での意見交換を通してJET-ALTの日々の勤務状況や悩み・課題などを把握し、解決のための方策を検討しています。

2. チーム・ティーチングの課題—ALTの悩み—

JET-ALT定例会議でのJET-ALTの声から、日本人英語教師（JTE）とのチーム・ティーチングにおける課題として以下の項目があげられます。

- (1) JET-ALTは、全市立中学校を訪問する約3か月間、1人5～6校を訪問することになり、各校への訪問は1～2週間と短く効果的な授業を行いきにくい。
- (2) 6月から翌年の2月に勤務する学校においても、授業へのJET-ALTの参加を積極的に求められないことがある。
- (3) JTEのチーム・ティーチングへの取り組みに個人差が大きく、学校・学年ごとのチーム・ティーチングの授業数や授業内容に格差が大きい。
- (4) 単語の発音練習や教科書のモデル・リーディングなど、単純な発音指導時のみALTに発言の場を与えられる授業がある。
- (5) コミュニケーションに重点をおき生徒の発話を促すための授業が行われなため、ALTとのチーム・ティーチングが有効に活用されない授業がある。
- (6) ALTの授業への発案や準備した教材をチーム・ティーチングの授業で取り入れてもらえないことがある。

上記(1)～(6)の現状から、JET-ALTの英語教育へのモチベーションの低下がみられることがあります。

授業改善に向けての取り組み

JET-ALT定例会議における声を生かし、JET-ALTが意欲的に授業に取り組み北九州市の英語教育に貢献できるように、授業改善に向けての方法を検討しました。

1. 授業観察

公開授業や学校訪問などを通して授業観察を行

い、授業におけるチーム・ティーチングの課題を把握しました。そして、授業後、JTEおよびJET-ALTとの意見交換を行いました。

2. JTEがチーム・ティーチングに積極的でない理由の分析

- (1) JTEが多忙なため、チーム・ティーチングの準備やALTとの打ち合わせの時間の確保が難しい。
- (2) JTE自身の指導法（訳読式も含む）が確立されており変革を望まない場合がある。
- (3) 英語でのALTとのチーム・ティーチングに慣れていない。
- (4) ALTとのチーム・ティーチングは効果的と思われていない。
- (5) 生徒指導の観点から、ALTが来ると、生徒が落ち着かなくなるという印象を持っている学校もある。

3. 効果的なチーム・ティーチングを進めるための取り組み

課題解決のため、次の2点に取り組みました。

(1) マイクロ・ティーチング

マイクロ・ティーチングとは、少人数で模擬授業を行い、他者と自分の授業を振り返りながらスキルアップを行う指導法の研修方法です。JET-ALT定例会議で、JET-ALTが順番に自作のワークシートを使ってマイクロ・ティーチングを行い、指導法と指導効果について全員で検討し、指導技術の向上を図りました。

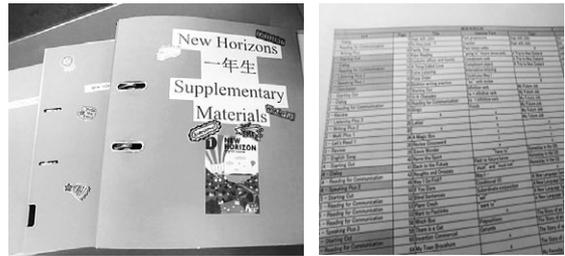
(2) ワークシート作成

チーム・ティーチングにおけるJTEの負担を軽減し、ALTが積極的に授業に参加できるように、北九州市で使用中の教科書を分析し教材用のワークシートを作成しました。

<作成手順>

- ①JET-ALTを各学年担当の3グループに分ける。
- ②ワークシートの作成スケジュールを決める。
- ③ワークシートの使用説明文用のフォーマットを作成し、学年・指導方法・準備時間・指導時間などの記入方法を統一する。

- ④全ワークシートのリストを作成し、作成者、ソースなどを明示する。
- ⑤作業完了後JET-ALT全員がデータを共有し、必要なデータをいつでも使用できる環境を整える。



JET-ALT作成のワークシート集 ワークシート・リスト

4. ワークシートを活用した授業実践

今年4月からJET-ALTは各勤務校でのチーム・ティーチングの授業でワークシートを活用した授業を行いました。

| | | |
|--|---------------------------|---------------------------|
| Grade: 1 | Unit: 8 Writing +2 | |
| Title: Greeting Cards | Time: 120 min | Prep time: 1 month |
| Grouping: Individual | Skill: Writing | |
| Objective: Learn and practice standard greeting card phrases | | |
| Materials: Paper whose quality is of the highest order, colorful pens/markers/pencils, worksheets, Holiday related pictures/stickers, model card, a place to send your cards | | |
| Structure: | | |
| 1) Find a place to send the cards, for this activity we selected St. Jude's Hospital in the USA, but any organization that takes Christmas cards is fine. Inform your students that you will make holiday cards and be sending them to children in your respective country who will actually receive these letters (we find the students are more excited to do this activity when you tell them this). This can take time to ship especially if you need to set up contact with the organization first, hence why the prep time for this may be about a | | |

教師用のワークシート使用説明文例

(2年生用教科書 NH Unit 8 ライティング指導)

Christmas Cards

We will write Christmas cards to sick children in America.
Please write your first draft below!

(アメリカの病気の子供たちにクリスマスカードを作ります。
あなたのメッセージを英語で書いてください。)

Hello!

From, _____

生徒用のグリーティング・カード作成ワークシート



ワークシートを使い生徒たちが実際に作成したカード

5. アンケートによる検証

新学期からの使用で、初めての訪問校や短期間の訪問での使用という難しさはありましたが、チーム・ティーチングの課題解決の手がかりを見出すことができました。

(1) アンケートの質問項目

- ①ワークシート集の使用について
- ②使用学年
- ③使用効果
- ④ワークシート使用前の課題
- ⑤JTEの反応
- ⑥使用後のチーム・ティーチングの変化
- ⑦ワークシート集の使用上の課題
- ⑧授業への効果
- ⑨使用後ワークシートの修正

(2) ワークシート使用後のJET-ALTの感想

ワークシートを使用したALT全員がワークシート集を役立つと捉えています。JTEの反応については、ワークシート集作成に大変感動し、「授業にすぐに活用できる」と喜ばれたと報告しています。

6. ワークシート集作成の効果

(1) JET-ALTが教科書をもとに3年間を見通したワークシート集を作成して積極的に授業への関わりを示したことにより、JTEと共働で授業づくりができる足掛かりとなりました。

(2) ALT間の意思疎通がよくなりJET-ALTの一体感を高め授業づくりへの意識が高まりました。

(3) 中高に勤務するALTと一緒に教材作成をすることにより、中



JTEとALTによるチームティーチング

高6年間を見通した指導を考える機会を持つことができました。

課題と今後の取り組み

ワークシート集は授業で継続して活用し、生徒の反応を観察しながら必要に応じて加筆修正する必要があります。JET-ALTは、アシスタントとして指示を待つだけでなく、1人の教師として積極的に授業づくりに関わりを持つことにより、生徒の英語力の向上や自国と日本の文化交流に貢献でき、JET-ALTとしての本来の目的が達成できると思われます。

JET-ALTの授業外での活動

北九州市のJET-ALTは各校での勤務以外に、以下のような活動を行っています。

1. イングリッシュ・キャンプ

北九州市では、本年度夏休みに2泊3日の日程で、英語で過ごすイングリッシュ・キャンプを実施しました。対象は市内70人の中学生で、12人のJET-ALTと北九州市在住の留学生も参加しました。初日は緊張気味の生徒たちも、キャンプ生活に慣れるにつれ、積極的に英語でのコミュニケーションを楽しんでいる様子が窺え、生徒たちの成長を実感できたキャンプとなりました。

2. イングリッシュ・コンテスト

北九州市では毎年11月に市内全中学生を対象にイングリッシュ・コンテストを開催し、約160名の中学生が参加しています。JET-ALTは各勤務校でスピーチの原稿作成・発表指導やコンテストでの審査員として活躍しています。今年で10年目の開催ですが、スピーチ・暗唱・寸劇の3部門のコンテストを実施します。

3. 英語教師対象の全員研修会への参加

英語教師対象の全員研修会にALTも参加し、公開授業参観後、JTEと共に英語で活発に意見交換を行いました。英語での話し合いは、チーム・ティーチングにも効果的な研修となりました。